

ユニークなアイデアで建設業界を盛り上げる！

栄建設株式会社

代表者 佛田 尚史
所在地 岩見沢市岡山町 18 番地 9
電話番号 23-0110
設立 昭和 38 年
従業員数 55 人
事業内容 一般土木工事、農業土木工事、道路維持管理業務、
除排雪業務、警備業務

地域の仕事をしています



代表取締役
佛田 尚史さん
に話を聞きました

一般土木工事や国道・道道・市道の除排雪を含む道路維持管理、圃場整備など、地域に根差した業務を行っています。

人材育成や企業の成長

社内での人材教育には限界があるため、地域活動を通して人材を育ててもらう方針です。社員には町会・自治会や商工会議所の活動に参加を促し、会社は「社会貢献制度」を設けて、そういった活動に手当を支給しています。地域の方々との交流が社員の成長につながると考えています。

建設業のイメージを変える！

会社を継いで最初に取り組んだのは服装です。Tシャツをそろえ、オリジナルの帽子も作り、カジュアル化して建設業のイメージを変えようと思いました。社員からは「とても着やすい」「暑い時には楽で動きやすい」と評判も上々です。



モータースポーツへの参戦

建設業界を盛り上げたいという思いから、好きなモータースポーツに参戦しています。最初は業界のイメージアップのつもりでしたが、会

社のPRにもなり、想像以上に地域や個人とのつながりができ、ドライバーも入社しました。

レース車の愛称は「公団ちゃん」

車のデザインは、道路パトロールカーがサーキットを走ったら面白いという発想と、デザインに社会性を持たせたいという思いで道路維持の仕事をモチーフにしました。愛称の「公団ちゃん」は最初は違和感がありました。道路公団＝高速道路なのですが、高速道路の仕事はしていないからです。ですが、あつという間にSNSで広がり、一つのキャラクターとして確立されてきたので最近はあるがたいと思っています。



ドライバー育成プログラム

モータースポーツをやりたいだけでも金銭面で諦める若者は多いです。そこで、レースがないときは会社で働き、レースのときは建設業のPRをする、若手ドライバーのステップアップと建設業のPR、双方にメリットのある仕組みを作りたいと思

い、始めました。



社員兼ドライバー
瀬戸 惇吾さん
に話を聞きました

入社したきっかけ

岩見沢出身で中学生のときにレーシングカートを始めました。北海道で約10年続けた後、実力を試したくて仕事を辞め東京に行きました。1年ほど各地のレースに出場し、岩見沢に戻る際に社長から「レーシングカーに挑戦してみないか」と声を掛けてもらい、入社を決めました。

トレーニングで心掛けていることは？

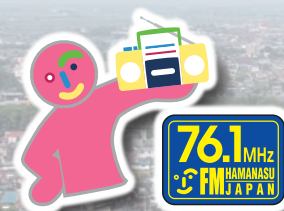
私が実際のコースに入れるのは試合前日だけなので、仕事同様限られた時間で意味のある練習をして、結果につなげることが大切だと感じています。

今後の夢は？

これからモータースポーツを始めたいこともや、競技をしていることにも、自分の経験を伝え、岩見沢からレーサーを輩出したいと思っています。

岩見沢を創る！

魅力ある中小企業



市職員が出演して説明
します
8月8日(金)
午後5時40分

独自の技術やサービスで地域を支え、元気にする中小企業。優秀な人材に「地元に残ってもらう」「地元に戻ってもらう」「岩見沢を選んでもらう。ために、市や関係機関はさまざまな支援を行っています。今月は、中小企業の成長や挑戦を後押しする支援施策と、岩見沢を盛り上げている魅力的な企業を紹介します。
問合先 商工労政課商工労政係 ☎ 35-4519

安心して中小企業に勤めてもらうための福利厚生事業
市内事業所の事業主と従業員を対象に祝い金、お悔やみや障害に対する共済金の給付、健康経営促進・能力開発に関する福利厚生事業を実施
問合先 岩見沢市勤労者共済会事務局(商工労政課内)
☎ 35-4519

人材育成に取り組む中小企業を支援
●岩見沢地方高等職業訓練校
技能者の養成と技術の向上
●技能者訓練助成
職業訓練校に従業員を入校させ国の助成金を受けた事業主に対し、助成金を支給
問合先 岩見沢市職業訓練センター(東町 2-1)
☎ 23-8340

融資制度
中小企業の資金調達を支援するため、目的に応じたさまざまな融資制度を提供
プレミアム付建設券
プレミアム付建設券を発行し、中小企業の受注機会の確保と市民の定住を促進
問合先 商工労政課商工労政係

補助金や給付金の申請を支援
販路開拓や生産性向上に要する経費の一部を国が補助する「小規模事業者持続化補助金」など、さまざまな補助金や給付金の申請を支援
問合先 岩見沢地区は岩見沢商工会議所(1西1)
☎ 22-3445、北村・栗沢地区はいわみざわ商工会(栗沢町本町 11) ☎ 45-2002

奨学金返還の支援で人材確保や定着を応援
●さっぽろ圏奨学金返還支援事業
学生時代に貸与型奨学金を利用した方が認定企業に就職し、特定の地域に居住した場合に支援。
詳しくは札幌市ホームページをご覧ください
問合先 札幌市雇用労働課(札幌市中央区北1西2) ☎ 011-211-2278
●企業の奨学金返還支援(代理返還)制度
企業が貸与奨学金の返還残額の一部または全額を支援した際、給与として損金算入できるほか、一定の要件で法人税の税額を控除
問合先 (独)日本学生支援機構奨学事業総務課 ☎ 03-6743-6029

経営に困ったときの無料相談
中小企業経営者が抱えるさまざまな経営課題の解決に向けた相談(オンライン相談可)
問合先 北海道よろず支援拠点(札幌市中央区北1西2) ☎ 011-232-2407

事業承継をサポート
●無料相談
事業承継の悩みを持つ中小企業経営者の「親族内承継」「従業員・役員承継」「第三者への譲渡」を支援(オンライン相談可)
問合先 北海道事業承継・引継ぎ支援センター(札幌市中央区北1西2) ☎ 011-222-3111
●札幌市事業承継マッチング支援事業
岩見沢市を含むさっぽろ連携中枢都市圏で、事業承継を希望する中小企業経営者を対象に「事業承継マッチングポータルサイト」を用いた事業譲渡希望者と事業譲受希望者とのマッチングを支援
問合先 札幌市商業・経営支援課(札幌市中央区北1西2) ☎ 011-211-2372

通年雇用の促進
セミナーの開催や資格取得費用の助成などにより季節労働者の通年雇用化を支援
問合先 岩見沢市通年雇用促進協議会(商工労政課内) ☎ 24-3625



新しい福祉の形を目指す！ 株式会社ジューヴル

代表者 池添 幸子
所在地 岩見沢市6条西1丁目4番3号
電話番号 35-1945
設立 平成29年
従業員数 20人
事業内容 就労継続支援事業（patisserie soraka）、
共同生活援助事業



代表取締役
池添 幸子さん
に話をききました

創業した経緯

もともと福祉の仕事をしており、障がいのある方の経済的自立が社会課題だと感じていました。仕事と生活を支え、1人で自立しなければいけない方のために住居や安心できる場所を提供したいと思い、新しい福祉の形を目指して創業しました。

お菓子作りの作業工程

パティシエの技術指導を受けつつ、利用者がすべての工程を担当しています。工程を細分化して得意な部分を担当することで、初めはできなかった作業も道具を変えたり、伝え方を工夫したりしながら、習得できるまで粘り強く教えることでできるようになります。大切なのは「やりたい」という気持ちなので、その気持ちを大切にしています。

地産・他・消

お菓子の材料は、第一に岩見沢産、その次に北海道産であることを考えています。ほかに「地産他消」も考えていて、他の地域に岩見沢のおいしい物を発信して、その裏側にいるさまざまな課題を持った人の努力を知ってもらえればと思っています。

会社としての目標

創業以来の目標は、利用者さんを20人社員登用できる企業になることです。また、岩見沢産の素材を使った製品を全国に届けながら、障がい者雇用をしっかりと進める企業を目指しています。



サービス管理責任者
鈴木 彩良さん
に話をききました

仕事の内容

利用者の食事やお金の管理など、生活全般の手伝いや相談を受けています。

気を付けていること

1人暮らしは、家事や買い物などすることがたくさんあって大変です。生活が安定していないと仕事に行けなくなり、お金も稼げません。仕事と生活は密接につながっているの、生活が安定するようにその人に合った支援を心掛けています。

やりがい、目標

入社して1年を迎えた頃、人と関わることが苦手な利用者さんに「鈴木さんが来てから1年がたちましたね」と言われ、覚えていてくれたことがとてもうれしかったです。これからその時の気持ちを忘れずに仕事をしていきたいと思っています。



利用者リーダー
森井 飛鳥さん
に話を聞きました

お菓子作りの大変なところ

一番大変なのは、卵白の比重を量ることです。混ぜ方によって出来上がりが変わるので難しいです。特に新商品を作るときは難しいけれど、ゆっくり教えてもらうとできるようになります。

今後の目標

お菓子作りはとても楽しいです。将来はカッコいいパティシエになるのが夢です。



代表取締役
中塚 力さん
に話を聞きました

地元の仕事に携わること

駅の連絡通路や図書館、市野球場、市役所庁舎などの工事に携わりました。市民の皆さんが使う施設が多く、責任感やワクワク感など、いろいろな思いがあります。

必要な資格

鉄同士をつなぎ合わせる溶接の資格が必須で、工場の社員は全員取得しています。ほかには、建築士、土木施工管理技士、クレーンや玉掛けなどの資格がないと受注できない仕事もあります。資格取得に必要な費用はすべて会社が負担しています。

当たり前のことを当たり前に

受注後は正確に製作し、納期までに確実に届けることが重要です。市内はもちろん、道内や全国各地、遠くは九州まで納品するので、作り直しはできません。無駄を省き、慎重に仕事を進め、確実に対応するよう心掛けています。

技術の向上はもちろんですが、社員の生活を守ることが大切だと考えています。何よりも安全第一で、事故や災害ゼロを目指し、全員が毎日無事に家に帰れること。それが一番の願いです。大きな野望よりも、当たり前前のことを当たり前にやる、それが何より大事だと思っています。



工場長
水吉 弘範さん
に話を聞きました

技術を磨くための取り組み

溶接作業をはじめ、実践で学ぶことが多いため、未経験の方でもベテランがサポートしながら、まずはできることから始めます。経験を積んだ後は、免許取得やスキルアップに積極的に取り組めるよう心掛けています。

技術を承継していくために

興味を持つことで覚えてもらうようにしています。楽しめるとうまくできることもあるので「この鉄骨は札幌駅で使ってる」という説明をしながら楽しんでもらうことを心掛けています。あとは、成功したらとにかく褒めることです。

言葉や文字で伝えることは難しい

技術の多くは「感覚」の部分が大きく、言葉や文字で教えることは難しいです。数をこなして経験を積み、失敗してもよいからやってみて、徐々に良くなっていくことで感覚を覚えてもらっています。

地域活動の取り組み

小・中学校からの依頼で出前授業や職業体験の受け入れをしています。こどもたちへの会社のPRになり、全国に出荷された製品が自分の町で作られていることを知ってもらう機会にもなります。地元企業をもっと知ってもらい、東京や札幌などにいても、岩見沢に戻ったときに仕事があることを理解してもらえば、戻りやすくなると考えています。そのために、私たちも会社の魅力をしっかり伝えていく必要があると思っています。



統括部長
島田 泰記さん
に話を聞きました

岩見沢には今回紹介した中小企業以外にも、個性や技術、地域への想いにあふれた魅力ある中小企業がたくさんあります。それぞれの企業がものづくりやサービスを通して地域を支え、暮らしを豊かにしてくれています。地元で働き、地元の企業とともに成長しながら魅力ある岩見沢を創り上げていきましょう。